

たてはく



開館35周年 令和8年度前期特別企画展

立山地獄めぐり

会期: 令和8年7月18日(土)～9月6日(日)



古くから、立山の山の中には、地獄の世界があると信じられてきました。

平安時代の『今昔物語集』には「日本国では罪をつくった多くの人は立山の地獄におちている」と書かれています。立山の地獄谷には、この世のものとは思えない不気味な風景が広がり、その近くには赤茶色の「血の池」もあります。こうした風景をみた昔の人びとは、仏教で語られる地獄が立山の山の中に本当にある、と考えたのです。

地獄とは、どのような世界なのでしょう？本展では、日本で描かれた「六道絵」や「十王図」などの地獄絵とともに、立山曼荼羅のなかの「立山地獄」を紹介します。もしかしたら、あなたの知らない地獄があるかも!? (高野靖彦)



観覧者には、もれなく「えんま帳」をプレゼント!

関連イベント

- ① 担当学芸員による展示解説会(一般向け)
7月18日(土)、8月11日(火・祝)、8月29日(土) 14:00～15:00
- ② 地獄セミナー ようこそ、地獄の世界へ!(子ども向け)
地獄博士といっしょに絵本やクイズで地獄の世界を学びます。
開催日時: 8月2日(日) 13:30～15:00
場 所: 教算坊、企画展示室
対 象: 小学生(保護者同伴)
定 員: 15名(参加無料、要事前申込)
申込方法: 電話・FAX・WEB申込フォームにて、参加者氏名、保護者氏名、連絡先を当館までお知らせください。
申込締切: 7月22日(水) 応募多数の場合は抽選とします。
- ③ 射水市大島絵本館との連携企画 「地獄へようこそ!」
8月1日(土)～8月30日(日) 場所: 射水市大島絵本館 ライブラリー
- ④ 富山県立図書館との連携企画 ミニ展示「本でめぐる地獄」
7月14日(火)～8月16日(日) 場所: 富山県立図書館 1階閲覧室



開催場所 立山博物館展示館1階 企画展示室
 開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 観覧料 一般250円、大学生130円 ※高校生以下は無料
 休館日 月曜日(7/20は開館)、7/21(火)

●7/16(木) 7/17(金)は企画展の準備作業のため、全館臨時休館します。

目次

- 開館35周年 令和8年度前期特別企画展 立山地獄めぐり 1
- たてはく新任紹介 2
- 令和8年度 布橋灌頂会開催記念公開展「布橋灌頂会の魅力がわかる!」を開催 2
- 令和7年度の文化観光事業について 2
- 学芸課発 立博雑学 第21回 房総半島の石碑にも「立山」!? 3
- 令和8年度〈立博アカデミー〉を開催 3
- 「まんだら遊苑ガイドツアー」にご参加ください! 3
- ボランティア活動報告 立博ボランティア、今年も活動がスタート! 4
- ニホンカモシカのモエちゃん かもしか園に仲間が増えました! 4
- さあ芦峯寺を探検だ!“たてはく探検隊”隊員大募集! 4
- ミュージアム de ナイト in 芦峯寺 4
- 編集後記 4





たてはく 新任紹介



副館長 浅岡 幸信

4月1日付けで着任しました。幽玄な自然に囲まれ閑静な立山博物館は、とても気持ちが安らぐ良い場所だと、毎日、雄山神社の杉を見上げながら感じているところです。また、立山の多様な自然や信仰の歴史を少しずつでも学んでいけたらと思っています。

近年、立山黒部には、国内のみならず世界各地から多くの方が訪れるようになりました。立山博物館が、立山の神秘や感動を伝える場所として、多くの方にリピート来訪してもらえる施設となるよう、職員の皆さんの取組みを全力で応援するとともに、私もその一翼を担えるよう力を尽くしたいと思っています。どうぞよろしく申し上げます。



公益財団法人富山県文化振興財団 管理課副主幹 坂野 弘幸

30年前、中野義之館長をはじめ、多くの諸先輩職員の皆様、そして芦峯寺の皆様を支えられて過ごしたこの立山博物館は、私の人生の原点と言っても過言ではありません。当時は、観光バスがひっきりなしに到着し、慌ただしく毎日が始まりました。施設の改修工事も多く、日中は、主に点在する施設回りの業務に従事し、夕方からは机上の仕事に取り組む日々で、疲労困憊のまま帰宅したことが思い出されます。私の趣味は弓道であり、その教えに「正射必中」という言葉がございます。正しい心とカタチで放たれた矢は必ず的に中る、という意味であり、単に技術の習得にとどまらず、自己の人格を磨くことの大切さを示すものと理解しております。今後は、博物館にお越しくださる皆様を大切にするとともに、共に働く職員の皆様にご心から敬意を払いながら、この立山博物館に尽力してまいりたいと存じます。どうぞよろしくお申し上げます。

令和8年度

布橋灌頂会開催記念公開展「布橋灌頂会の魅力がわかる!」を開催

芦峯寺集落では、江戸時代、死後、立山山中にある血の池地獄に堕ちると信じられていた女性たちを救うべく、閻魔堂・布橋・嬬堂を舞台にして「布橋灌頂会」が行われていました。女人禁制の立山は、墮地獄から女性を救う山でもあったのです。

本年9月27日(日)に現代的イベント「布橋灌頂会」が開催されるのにあたり、立山博物館でも江戸時代の布橋灌頂会に関する貴重な資料から歴史的意義や布橋灌頂会の魅力を紹介します。ぜひ、「布橋灌頂会」とあわせてご覧ください。(細木ひとみ)

会 期：6月30日(火)～9月27日(日)

会 場：展示館2階 常設展示室(一部)

観覧料：常設展示観覧料

【担当学芸員展示解説会】9月26日(土) 13:30～14:30



吉祥坊本の布橋灌頂会(部分)

令和7年度の文化観光事業について

3年目を迎えた「立山博物館を中核とした文化観光拠点計画」ですが、令和7年度に行った主な事業は、1. 展示館3階の展示リニューアル(英語多言語化を含む)、2. 立山曼荼羅の高精細デジタルデータ化、3. ホームページの多言語化(英語、簡体・繁体中国語、韓国語)、4. 動画コンテンツの制作です。展示は分かりやすくなったと好評で、多言語化したことでインバウンドの観覧者にも好評です。立山曼荼羅は今年度これまで作成したデジタルデータをご覧いただけるようにする予定です。ホームページは海外からの反応が増えました。動画は博物館が立地する芦峯寺の四季をテーマに制作しましたので、YouTubeのたてはくチャンネルでご覧ください。(鈴木博喬)





学芸課発

立博雑学



学芸課によるリレー形式のコラムです。立山や立博についての蘊蓄や魅力を、雑学としてお伝えします。

第21回 房総半島の石碑にも「立山」!?

日本三霊山連携事業の一環として令和6年7月13日～9月23日に開催した、特別企画展「立山・白山・富士山を巡る」の中で、三山を一度に登拝する「三禅定」を達成した記念で建てた石碑（三禅定碑・巡礼碑）について紹介した。それまでの石碑調査から十数年経っていたこともあり、令和5年度から先学者の調査成果をもとに現状調査を実施することにした。そのほとんどは所在を再確認することができたものの（1基不明、新たに1基発見）、銘や住所の書き間違いがあったり、摩耗が進み陰刻文が判読しづらかったりし、さらには住所だけでは位置がわかりづらかったりもして調査に難儀した。

そこで、三禅定碑の調査の経験を生かして、令和7年度からは先学者や地域の石造物調査などで調査成果のある関東地域で見られる立山への巡礼碑の現状調査を実施することにした。令和7年度は、埼玉県川越市、神奈川県小田原市・川崎市、東京都中野区、千葉県南房総市・館山市・市原市など計19基の石碑のうち、11基の現状を確認することができたので、その中から今回は千葉県内の2基を紹介する。（細木ひとみ）
※文字は石碑面の右側から記し、「/」は改行、□は判読しづらい字を示す。

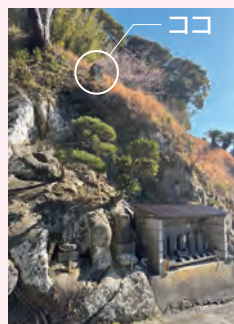
●南房総市千倉町千田の墓地内の石碑

墓地がいくつかあり、探すのに苦労した石碑の一つ。正面に「(金剛界大日如来坐像) 恐山/月山/湯殿山/羽黒山/越中立山 奉/納 西國/坂東/秩父 百/番」、向かって右に「奉納四國八拾八箇所」、向かって左に「寛政十三酉星/二月大吉辰」(寛政13年=1801)とあり、上台石の正面に「大川村/鈴木清右門衛/□(富カ)村/早川□(基カ)右衛門/同村/坂本忠兵衛/同村/坂本八郎右衛門/同村/川上 権四郎」、向かって右に「坂本氏/平野氏/川上氏」と陰刻されている。



●館山市宝貝の覚性院の墓地内の石碑

「なぜこんなところに!?!」とびっくりする所に建つ石碑。正面に「(胎藏界大日如来の梵字) 月山/湯殿山/羽黒山 立山」とあり、台石の正面に多くの氏名が陰刻されており、向かって右に「天保三/二月吉日/樹□□(正泉カ)」(天保3年=1832)とある。左側には回れなかったため、今回は調査できず。



お願い

現在は、主に関東地域を調査していますが、今後は他地域にも調査を進めたいと考えています。市町村史や各地域の石造物調査報告書をもとに調べていくことになるのですが、「立山」や「立山権現」などが刻まれた石碑をご存知であれば(〇〇の本に載っていたという情報でも大丈夫です)、ぜひご一報ください。

【参考文献】

- ・對馬郁夫『安房の出羽三山塔に見る重層信仰について』(『房総の石仏』9号、房総石造文化財研究会、1993年)
- ・對馬郁夫『房州千倉町における出羽三山信仰について』(『千葉県立安房博物館 研究紀要』、1996年)
- ・對馬郁夫『房総に息づく出羽三山信仰の諸相』(岩田書院、2011年)
- ・福江充『房総半島における出羽三山・立山関係併刻石造物の分布状況』(『立山信仰と三禅定』、岩田書院、2017年)

令和8年度〈立博アカデミー〉を開催

立山に関する研究の成果が聴ける講座です。ぜひご聴講ください。

立博アカデミー②「明治から大正に立山を登った外国人」

立博アカデミー③「立山黒部を貫いた夢」

講師：②河野史明(学芸課主任)、③森山義和(学芸課長)

開催日：②7月5日(日)、③10月4日(日)

時間：②・③とも13:30～14:30

場所：芦峯公民館 大会議室

定員：各日40人

聴講料：無料 ※申込不要、先着順

「まんだら遊苑ガイドツアー」にご参加ください!

学芸員の解説付きでまんだら遊苑を巡るガイドツアーを開催します。

開催日：②6月20日(土)、③9月5日(土)

時間：②・③とも10:30～11:45

集合場所：まんだら遊苑 地界入口

参加料：まんだら遊苑観覧料

定員：各日20人

※申込不要、先着順



ボランティア活動報告

立博ボランティア、今年も活動がスタート!

- 4月11日(土)、ボランティア総会を芦峯公民館で開催し、佐伯照代会長の進行のもと、ボランティア活動や教養講座の拡充について、活発な意見がかわされました(参加者18名)。また、総会後には第1回教養講座として、学芸課の上利理峰業務補助員が「新しくなった3階をまわろう」と題して、令和7年度にリニューアルされた展示館3階の解説会を実施しました。展示の裏話満載であつという間の1時間でした。
- 4月25日(土)の午前中には、毎年恒例の教算坊の池掃除を行いました。池の水を抜いて泥や落ち葉を掻き出し、池底や石積みなど隅々まで磨きました。
- 5月3日(日・祝)、4日(月・祝)の2日間、ボランティア有志による「立山博物館コンシェルジュ」を実施し、芦峯寺集落を楽しく会話しながら参加者を案内しました。県内外、親子連れなど、のべ23名もの利用があり大盛況でした。(河野史明)



ニホンカモシカのモエちゃん かもしか園に仲間が増えました!

国の特別天然記念物に指定されているニホンカモシカの繁殖目的で、かもしか園で飼育中の「シュート」(雄、16歳)の息子「エイト」(雄、13歳)が2023年より長野市茶臼山動物園に貸し出し中です。そのシュートと「モモ」(雌、7歳)との間に生まれた「モエ」(雌、1歳)がかもしか園で飼育されることになり、5月12日(火)にやってきました。ぜひ、モエちゃんに会いに来てください!



令和8年度の催し物案内

さあ芦峯寺を探検だ!

“たてはく探検隊”隊員大募集!

夏休みの恒例イベント「たてはく探検隊」の隊員を募集します。例年大好評につき、今年は2回の開催です!立山曼荼羅の絵解きや、地獄に関するあつと驚くお話し、ミニ布橋灌頂会など、盛りだくさんな内容で、立山の自然や歴史について楽しく体験しながら学ぶことができます。多くの隊員の参加をお待ちしております!



- 開催日時 7月20日(月・祝)9:30~12:30
8月23日(日)9:30~12:30 ※両日とも実施内容は同じです。
- 開催場所 展示館、教算坊、閻魔堂ほか
- 対象 小学生(保護者同伴)
- 参加費 無料(ただし、事前申し込みが必要)
- 定員 各日25名
- 締め切り 7月10日(金)
※こちらのQRコードからお申し込みできます。



ミュージアム de ナイト in 芦峯寺

今年は、外をライトアップした地獄博物館に加えて、地獄めぐりの特別企画展も見どころ。例年以上に地獄で盛り上がりそうです。日中の暑さも少し和らぐ頃、ぜひ夕涼みを兼ねてお越しください。

★今年もお楽しみ企画でおもてなし!!

- ◎小学生に大人気、家族で楽しめる地獄の番人とクイズ対決
- ◎楽しみながら八大地獄が学べるスタンプラリー
- ◎明かりを落とした教算坊お座敷で「立山曼荼羅絵解き解説」口演

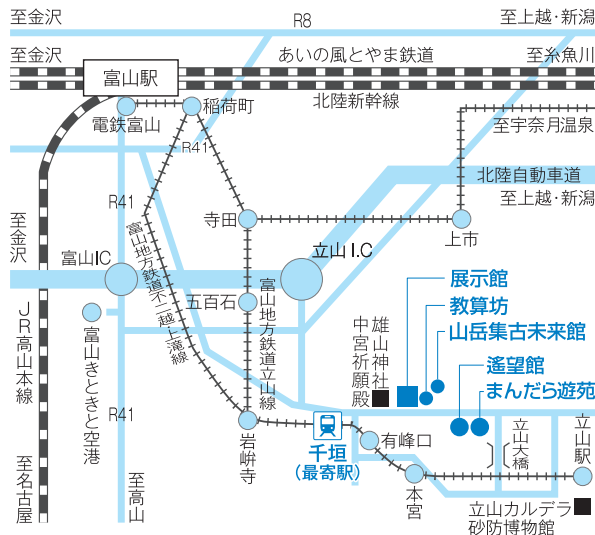
- 開催日 8月8日(土)・9日(日)
- 時間 18:00~21:00(入館は20:30まで)
- 会場 展示館、教算坊、山岳集古未来館
- 観覧料 展示館(常設展+企画展) 一般600円・70歳以上250円・大学生130円・高校生以下は無料。*教算坊と山岳集古未来館は無料



編集後記

今年の夏はとにかく猛暑だ!という報道を目にするたび、体調や電気代など心配になりますね。でも、立山博物館も「開館35周年」なので、気持ちは熱く燃えています!!しかも、夏の企画展のテーマは10年ぶりの「立山地獄」。地獄の業火の苦しみを想像しながら、ひんやりとした博物館でぜひゆっくりとお過ごしください。(H)

案内図



- 最寄り駅 富山地方鉄道立山線千垣駅下車 徒歩約30分(約2km)
※日曜・祝日を除き町営バス運行「雄山神社前」下車すぐ
- 自家用車で JR富山駅から 約45分
立山駅(千寿ヶ原)から 約15分
富山インターチェンジから 約35分
立山インターチェンジから 約30分

立山博物館のHPはこちらから



人間と自然のかかわり方を学ぶ

富山県[立山博物館]

〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺93-1
TEL 076-481-1216 FAX 076-481-1144

でも情報発信中 立山博物館